MITSUBISHI

三菱ダクト用換気扇〈消音フルフラットインテリアタイプ〉

居間・事務所・店舗用

取付説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ず、この取付説明書をお読みください。

取付工事はお買い求めの販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

■この製品には、システム部材または、市販品の埋込スイッチが必要です。
■接続ダクトはφ150(6番管)の塩化ビニール管、アルミスパイラルダクト、鋼板管のいずれかをご用意ください。

1. 外形寸法図

形名
VD-18ZNP-Z
VD-20ZN-Z
VD-20ZNP-Z　※(　)内の寸法はVD-20ZNP-Zを示す。

単位(㎜)

形　　名

VD-18ZNP-Z
VD-20ZN-Z
VD-20ZNP-Z
VD-23ZN-Z
VD-23ZNP-Z

付属部品

木ネジ……………………8本

天吊金具…………………4個

天吊金具取付ネジ……8本

形名
VD-23ZN-Z
VD-23ZNP-Z

変化寸法表

形名	A	B	C	D	E	F
VD-23ZN-Z	276	185	250	282	28.5	2.5
VD-23ZNP-Z	302.5	211.5	280	328	37.5	4

単位(㎜)

2. システム部材

(形名など詳細についてはカタログを参照してください。)

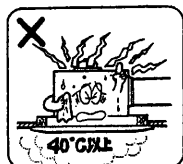
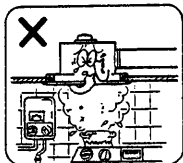
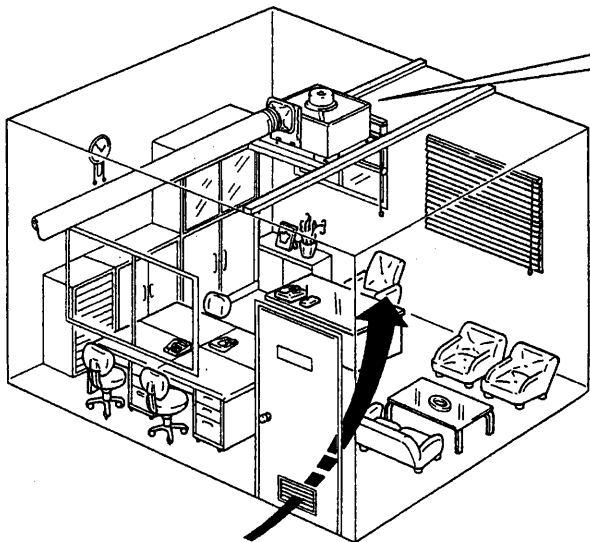
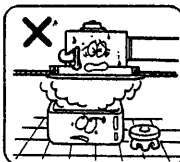
防火ダンパー、煙逆流防止ダンパー、ベントキャップ、ウェザーカバー
丸形フード、深形フード、パイプ接続部材、ジャバラ、埋込スイッチ

3. 必ずお守りください

換気扇の取付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。

●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割りを果たすものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。
●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りの木造物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクト、換気扇及びベントキャップなどの金属部分とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。(電気設備技術基準による)
●ジャバラの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。

3. 必ずお守りください つづき

取付場所・取付けについて下記の事項をお守りください。

■40℃以上の高温で使用されますと、製品の変形やモーター焼損の原因になります。

■油煙の多いところには取付けないでください。グリル・羽根の破損の原因になります。

■取付けが不十分ですと危険です。また振動・異常音の原因になります。

■浴室など湿気の多いところで使用されますと、湿気で感電や故障の原因になります。

■密閉された建物では、汚れた空気を排出するとき、新鮮な空気の入るところが必要です。換気扇の反対側に空気取入口を設けてください。

■天井材は共鳴しにくい石こうボード・吸音板・繊維板などをご使用ください。

■取付時、板金部品の端面で手を滑らせると手が切れる場合がありますので手袋の着用をおすすめします。

■配線工事は専門の工事店さまへご依頼ください。

ダクト工事について下記の事項をお守りください。

■排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。

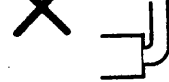
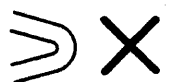
■排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(システム部材)または、雨水などの浸入を防ぐためのウェザーカバー(システム部材)などを取付けることをおすすめします。

■次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

●極端な曲げ(90°以上曲げないでください。)

●多数の曲げ(曲げ数が多くなれば風量低下します。)

●吐出口のすぐそばでの曲げ

●接続ダクト径を極端に小さくする(しぼり。)

4. 取付方法

1. 取付位置・壁排気穴位置を決めます。

2. 換気扇本体を取付けます。

■本体の取付けは野縁に固定する方法と付属の天吊金具を使用して軽量鉄骨に取付ける方法とがあります。

野縁に取付ける場合

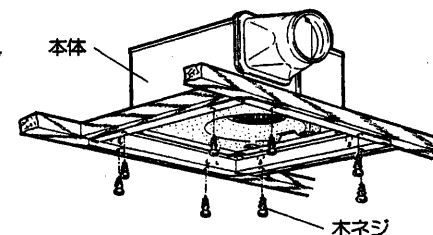
野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を使用する場合の取付方法と併用してください。

(1) 内寸が下表(A寸法)となるように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組んでください。なお野縁は45㎜以下のものを使用してください。

単位(㎜)

形名	A
VD-18・20タイプ	385
VD-23タイプ	465

(2) 本体を斜めに傾け、ダクト接続口から野縁内に差込みます。

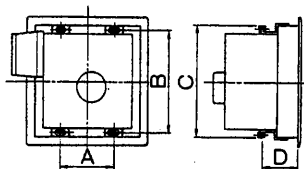
(3) 本体を水平にし、本体と野縁にすき間のないようグリルボックス部を付属の木ネジ(8本)でしっかり固定します。

ご注意

●野縁の上に本体を置くような施工はしないでください。グリル固定用のネジがとどかなくなり、グリルの取付けができません。

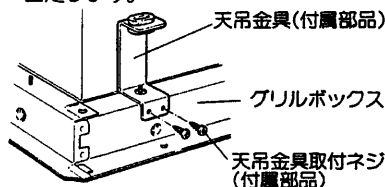
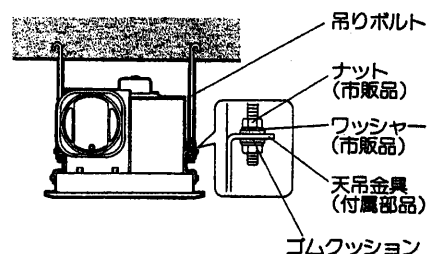
4. 取付方法 つづき

天吊金具を使用する場合

(1) 下図を参照してあらかじめ市販の吊りボルト(M8)を埋込みます。

単位(㎜)

形　名	A	B	C	D
VD-18・20タイプ	200	345	375	130
VD-23タイプ	300	425	455	130

(2) 付属の天吊金具を本体組付けのグリルボックスに取付けます。

- グリルボックスのへこみ部に天吊金具の穴2ヵ所を合わせ、天吊金具取付ネジ2本で固定します。

(3) 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。

ご注意

- **天吊金具を使用しますと、天吊金具取付用ネジの先端がグリルボックス内面に出ますので取扱いに注意してください。**

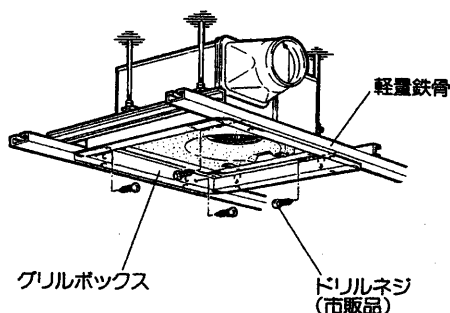
軽量鉄骨に取付ける場合

必ず天吊金具を使用する場合の取付方法と併用してください。

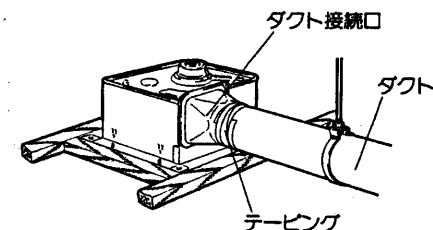
(1) 上記の天吊金具を使用する場合の取付方法(1)〜(3)を事前に行います。

(2) 軽量鉄骨で野縁を組み、グリルボックス内側からグリルボックスに4ヵ所のへこみ部を目印として、市販のドリルネジ(4本)で野縁に固定します。

ご注意

- **本体を野縁に固定する際、グリルボックスの外側からドリルネジで固定するような工事はしないでください。グリルボックス内にネジの先端が突き出てグリルが取付かなくなる場合があります。**

3. 本体から壁排気穴までダクトで接続します。

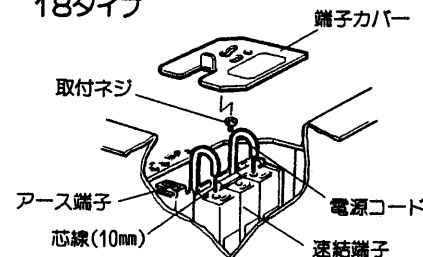
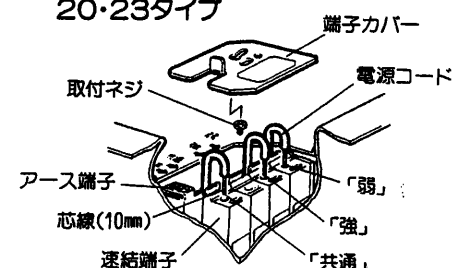
(1) ダクトをダクト接続口にしっかり差込んで風漏れのないようテーピングしてください。

(2) ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊してください。

4. 電気工事を行います。

- **専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。**

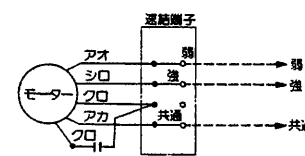
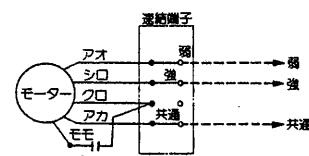
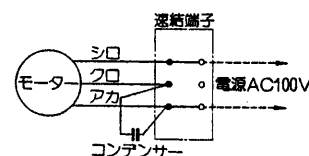
(1) 本体上部のゴムブッシュより屋内配線(VVFケーブルφ1.6、φ2)を通します。

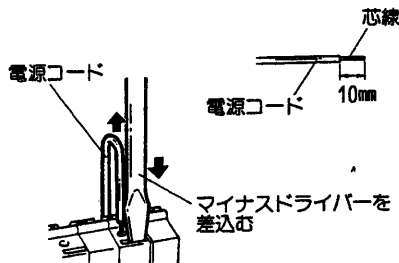
(2) 端子カバーのネジ1本を外して端子カバーを開け、速結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差込みます。(結線図参照)

(3) 端子カバーを元通り取付けます。

■結線図 破線部分を結線してください。

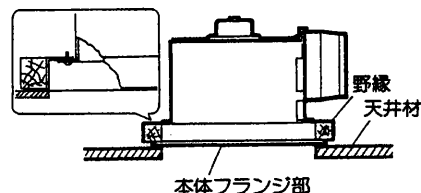
VD-18ZNP-Z

VD-20ZN-Z

VD-20ZNP-Z
VD-23ZN-Z
VD-23ZNP-Z

ご注意

- 強弱切換タイプは結線を間違えますと、モーターが焼損する恐れがあります。十分確認のうえ結線してください。また１個のスイッチで複数台運転はできません。モーター焼損の原因になります。
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差込んでください。
- 電線被ふくは10㎜むいてください。本体にあるストリップゲージに合わせて、皮むきしますと便利です。
- 電源コードは、本体付近で約150㎜たるませてください。
- 電源コードを速結端子より外す場合は、マイナスドライバーで速結端子の外しボタン（赤色）を押しながら電源コードを引っぱって外してください。

5. 天井板を張ってください。

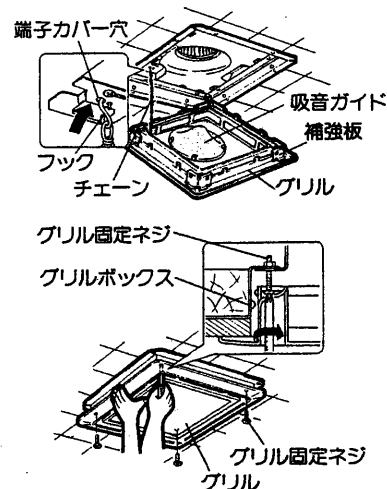
ご注意

- グリルボックス内寸法に合わせて、天井材に角穴をあけてください。

6. グリルを取付けます。

(1) グリルにチェーンが付いていますのでグリルの裏側に貼ってある注意ラベルの指示位置に従ってフックを端子カバーの穴に右図のように引掛けます。

(2) グリルをグリルボックス内に押上げ、グリル固定ネジ（４本）で天井面に密着するように軽く締付けます。
（強く締めすぎますと、グリルが変形する恐れがあります。）

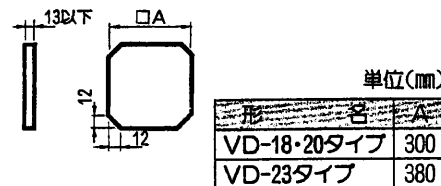
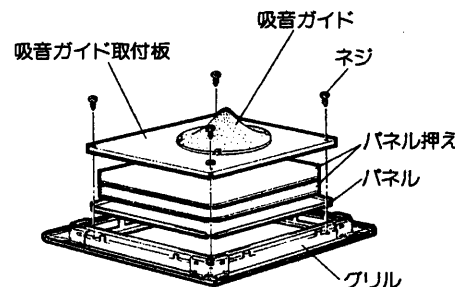
ご注意

- グリルの４すみに取付けられている補強板は取外さないでください。

グリルと天井材を合わせる場合

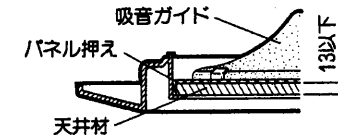
……グリルと天井材が同一で見ばえの良い取付けかたです。

(1) 天井材を下図の寸法に切断します。
- 必ず寸法通りに切断してください。

単位（㎜）

形　名	A
VD-18・20タイプ	300
VD-23タイプ	380

(2) 下図のようにグリルを分解します。
①吸音ガイド取付板を固定しているネジ４本を外します。
②吸音ガイド取付板を取外し、パネル押え、パネルを取外します。

(3) 用意した天井材とパネルを入換えて取外しと逆の順序で取付けます。
- 吸音ガイド取付板を取付ける際、吸音ガイド取付板とパネルの両方に刻印された 端子カバー側 の文字が同じ位置になるように取付けます。

ご注意

- グリル裏側に取付けてある吸音ガイドは、こわれやすいものです。取扱いには十分注意してください。
- 天井材は厚さ13㎜以下のものを使用してください。
- 厚さ方向にすき間がある場合は、天井材とパネル押えを組合わせてすき間のないようにしてください。

- 天井材は重いもの・われやすいものは避けてください。

形　名	天井材重量
VD-18・20タイプ	1.0kg以下
VD-23タイプ	2.0kg以下

5. 試運転

取付工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認して正常な運転ができるか、また本体の取付けが確実で振動・異常音がないかを確認してください。

〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3（三菱電機ビル）

9202B㊥R
588H60764